

「潤水都市さがみはらフェスタ」で広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光3等陸佐）は、11月4日（月）、相模総合補給廠一部返還地（相模原市中央区）で開催された「潤水都市さがみはらフェスタ」に自衛隊ブースを出展し、広報活動を行った。フェスタは、特設ステージでのライブ演奏のほか、体験型イベントや様々なフードや物販ブースの出店もあり、多くの来場者でにぎわった。

相模原地域事務所のブースでは、自衛官募集相談員の支援を受け「制服・迷彩服試着コーナー」を開設して、子供から大人までたくさんの方々が試着や写真撮影を楽しんでいた。さらに神奈川県本の公式キャラクター「トップニヤン」も登場し、会場を和ませていた。また、自衛隊への入隊や予備自衛官補制度などに興味がある方も多く来場し、「自衛隊制度個別相談コーナー」にて広報官が説明を行った。

当日、相模原市のボクシングジムに所属する世界3階級制覇の中谷潤人選手も自衛隊ブースに現れ、迷彩服を試着して「自衛隊、頑張ってください！」と力強い応援のメッセージをいただいた。来場者からも、「いつも私たちのために働いていただいてありがとうございます」「災害派遣での活動、本当にお疲れ様です」などの声をいただき、広報官は身の引き締まる思いだった。

相模原地域事務所は「今後も積極的に地域のイベントに参加し、たくさんの方に自衛隊をもっと身近に感じてもらう、ひとりでも多くの方に自衛隊という職業への理解を深めていただけるよう活動していきたい」としている。



世界チャンピオン中谷選手（中央）



自衛隊制度の個別相談



迷彩服の試着・写真撮影（子供の顔ぼかし）



オートバイにまたがり記念撮影



迷彩服を試着して記念撮影



親子で記念撮影



懇切丁寧な説明

やまと産業フェアで募集広報

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、11月9日（土）、10日（日）の2日間、大和市内で開催された『やまと産業フェア』に自衛隊ブースを設置し広報活動を行った。同フェアは大和市内の商業・工業・農業などの産業をPRするイベントで、大和市特産品や飲食物の販売のほか、各種イベントや子供向け企画など様々な催しが実施され、多くの来場者でにぎわった。

ブースでは、陸上自衛隊第4施設群の支援を受け、1/2tトラック及び偵察用オートバイの展示を行った。車両周辺は「かっこいい」「乗ってみたい」などの声が上がっており、親子でオートバイにまたがり写真撮影をする姿などが見られた。迷彩服試着体験コーナーでは、「何色がいいかな」と子供たちが自分で選んだ迷彩服に着替え、保護者たちは「かわいい」「似合う」と展示車両の前で「敬礼ポーズ」をして写真撮影をする姿も多く見られ、ブースは大盛況となった。また、募集相談コーナーには入隊制度などについて相談する方が来場し、広報官が丁寧に説明を行った。

厚木募集案内所は、「いろいろな地域イベントに参加させていただき、たくさんの方々の笑顔や励ましの声をいただいている。今後も地域社会に根ざした募集広報活動に努め、自衛隊への一層の理解促進を図っていきたい」としている。